

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	第二椎の実子供の家
日時	令和7年2月5日

1. 活動テーマ

<テーマ>

4歳児 『音』②楽器に触れてみよう！

<テーマの設定理由>

- ・リズムや音が鳴る仕組みに興味を持つ子が多くいた。
- ・普段、親しみのある楽器や触れる機会の少ない楽器を用意して自由に音を鳴らしてもらおう。

2. 活動スケジュール

- ・2グループ 10～12人に分けて行う。
- ・1グループ、30分程度の活動時間で行う。

3. 探究活動の実践

<活動の為に準備した素材や道具、環境の設定>

- ・カメラ ・iPad ・iPhone ・記録用メモ
- ・トーンチャイム ・ウッドブロック ・トライアングル ・レインスティック
- ・ウィンドチャイム ・カスタネット ・シンバル ・タンブリン ・オルゴール

<活動の内容>

- ・楽器や電子機器（撮影方法）の取り扱い方、注意事項を伝える。
- ・好きな楽器、興味のある楽器に触れて自由に音を鳴らす。
- ・楽器にオルゴールを付けて、音の響きや大小の変化を感じる。
- ・友達が音を鳴らしている様子を子どもがiPadで撮影する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり>

- ・親しみのある楽器は自由に音を鳴らし、リズムを奏でる姿も見られた。
- ・ウィンドチャイムでは「魔法みたいな音が聞こえるね」と楽しんでいた。
- ・初めて触れるトーンチャイムでは楽器の長さによって音が変わることを不思議に感じていた。「短いほうが綺麗な音が聞こえる」「長いほうが音を鳴らすことが難しい」

と試行錯誤しながら音の変化を確かめていた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 前回の活動でオルゴールをあてる素材によって音の大小の変化があること、音が作り出される環境や仕組みに興味を持っていた。今回もオルゴールを用意して楽器にあてながら音を鳴らすと聞こえ方の違いを見つけて興味を持っていた。オルゴールを楽器にあてる時は力の加減やあてる場所の工夫も必要だったため、保育者の援助を行うようにした。
- 子ども達にとって、初めて見る楽器を「自由に触れてよい環境」はとても魅力的だった。音を聞くだけでなく、実際に触れてみることも五感で音を感じることができ、嬉しい経験となったではないか。